

【資料】

幼稚園（5歳児）小学校第1学年連携 生活科学習活動案

指導者 福岡市立A小学校 1年〇組 ○○ ○○
支援者 私立C幼稚園 Y組 ○○ ○○

1 単元 とびだせ あそびたい「あきと いっしょ」

2 指導にあたって

〈1年生〉

【こんな子どもだから】

- 1学期に、校庭や公園で草花遊びや虫探しをしたりして、春、夏の自然に触れている。校区内に広い自然がなく、自然の中で遊んだ経験は、家庭での経験により個人差が大きい。
- 公園でみんなで遊ぶときは、順番を守ることや、安全に遊ぶことなどのルールを決めて、楽しく遊ぶことを経験している。
- 1学期に、児童会活動のお店屋さん集会で、他学年の児童が作った物で遊んだり、買い物をしたりして遊んでいる。1学期は、6年生に遊んでもらったり、2年生に校舎内を案内してもらったりしていたが、学年や学級内で遊ぶことが多くなってきている。
- 教科の学習や学級活動などで、自分の考えや思いを言ったり、友だちの発言を聞いたりすることができるようになってきている。

【こんな子どもに】

- 秋の自然に関わり、自然の中で楽しく遊ぶことを通して、季節の変化や自然を遊びに取り入れるよさを感じる。自然の中で、元気に思いっきり遊ぶ。
- 園児と一緒に遊ぶことを通して、年下の子に対する思いやりや優しさをもって、行動することができる。
- グループで作る物を自分たちで決めて仲良く作り、みんなが楽しめるように、遊びのルールを工夫する。
- 相手に分かりやすく説明したり、分からないことを尋ねたりして、遊びに積極的に関わる。

〈5歳児〉

【こんな子どもだから】

- 自然との触れあいが少ない生活環境のため、1学期は園外保育を多くして、草花集めや虫探しなどの体験を通して、春、夏の四季の変化を体感している。また、どろんこ遊びや畑づくりなどして、土や水に慣れさせるとともに、ものづくりや育てる喜びを育てている。
- 園外保育に出かけたり、縦割りのクラスでの保育体験を通して、交通ルールや遊びの中で譲り合うこと、お世話をすること、安全面に気をつけることなど、少しずつ分かって行動できるようになっている。
1学期は、親しい友達とだけ遊ぶことが多かったが、班行動やいろいろな行事を経験して友達の幅が広がり、クラスみんなで遊ぶことや遊びを自分達で発展させることができるようになってきている。
- 1学期は、自分の思いを言葉で表せなかった子も、班の中、クラスの中では自信を持って発言できるようになってきている。
- 就学への意識は、まだ高まっていないが、園内でのお兄さん、お姉さんとして、年下の子に優しく接したり、教えてあげたりしようとしている。

【こんな子どもに】

- 変化の大きい秋の自然と関わり、たくさん触れる中で、季節の変化のおもしろさに気づく。自然の中で、思いっきり体を動かして遊ぶ心地よさを感じる。
- 小学生と一緒に行動する中で、遊びの工夫を教えてもらったり、助けてもらったりして、親しみを感じて仲間を意識し、人の関わり方を学ぶ。
- いろいろな場面で、自分の考えを言ったり、思いを伝えようとする。また、人の話を聞くことができるようにする。
- 小学生との交流をきっかけに、1年生を身近に感じたり、就学に向けての期待がふくらんでいく。

【この単元で】

〈1年生〉

- 秋の校庭や公園で遊ぶ活動を通して、人や自然と関わりながら遊ぶ楽しさを味わい、自然や生き物の様子に関心をもち、季節の変化に気づくことをねらいとしている。
- 幼稚園児と関わることで、年下の人に対する思いやりや優しさをもち、助け合って遊ぶ経験をするこゝもねらいとしている。

〈5歳児〉

- 秋の自然と関わり、たくさん触れ、季節感を十分味わい、楽しく遊ぶ。
- 自分たちで見つけた落ち葉や木の実を使って、作る楽しさ、工夫する喜び、遊ぶおもしろさを味わう。
- 小学生に親しみをもち、教えてもらったり、一緒に遊びを工夫したりする。

【このような方法で】

〈1年生〉

- 校庭や公園で自然のよさを味わって遊ぶことができる場所を調べておき、夏と秋の季節の変化に気づくことができるように、公園に繰り返しでかける。
- 自然物で作った飾りやおもちゃを紹介して、作ってみたい物の具体的なイメージをふくらませ、活動への見通しと期待をもたせる。
- 幼稚園児との交流を深めるために、学校と園とを行き来する機会を多く設ける。

〈5歳児〉

- 小学生との交流に園児が意欲的に参加できるように、園児が自信を持ってできる遊びや活動を取り入れる。
- 小学校との連絡を密にし、子ども達が戸惑わないよう十分配慮する。

3 単元目標

〈1年生〉

- 進んで落ち葉や木の実を集めたり、友だちや園児と楽しく遊んだりする。(関心・意欲・態度)
- 落ち葉や木の実などの特長を生かして遊びを工夫することができる。(思考・表現)
- 落ち葉や木の実を集めることを通して、秋の様子や季節の変化に気づくことができる。また、園児との交流を通して、人と関わることの楽しさに気づくことができる。(気づき)

〈5歳児〉

- 園外保育に楽しんで参加する。(10、11月カリキュラムより)
- 秋の自然に触れ、変化や美しさに気づく。
- 落ち葉や木の実を拾って、遊ぶ楽しさを味わう。

4 指導計画 〈総計 16時間〉

幼稚園児の活動と支援	主な活動内容	教師の支援(○)と評価の観点(*)
1 小学校のグラウンドに行つて、1年生と交流する。 ○ グループ作りがスムーズにできるように指示する。 ○ ゲームの進行を助ける。 ○ やって見せ、一緒に参加し楽しむ。 ○ 分からない子には個人的に声掛け、配慮する。	1 活動の計画を立てる。(1時間)	○ 園児と交流することや教科書P64～P69の作品例を紹介して、活動の見通しや意欲をもたせる。 * 活動の見通しや意欲をもつことができたか。
	2 1年生と年長組の顔合わせをする。(1時間) ・自己紹介 ・うたってじゃんけん ・じゃんけん列車 ・いっしょに走ろう	○ 事前にグループ編成をしておき、スムーズにグループ作りができるようにしておく。 ○ グループを意識したゲームを準備する。 ○ BGMを準備して、楽しい雰囲気を出す。 * 1年生と園児が仲良く楽しく遊ぶことができ、また一緒に遊びたいという意欲をもつことができたか。
	3 校庭の草花や樹木のビンゴゲームをする。(2時間) ・秋の草花や樹木の名前を書いた25マスのビンゴカードを持って、グループで	○ ビンゴカード(1人に1枚)には、植物の名前を書いて、ヒントカード(グループに1枚)には、場所や写真を載せておく。 ○ 見つけたところにシールを貼

<p>2 園児が小学校の教室に行き、1年生と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゲームや遊びの進行を助ける。 ○ 1年生の教室を紹介する。 ○ ルールを分かりやすく伝える。 ○ 一緒に参加し、楽しい雰囲気を進めていく。 <p>3 1年生と○○公園に行き、木の実や落ち葉などを拾ったり、自然の中で元気に遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師間で連絡を密にとり、園児の安全に万全を期す。 ○ あらかじめ、どんなことをするか話しておき、意欲的に参加できるようにする。 ○ 戸惑っていないか配慮し声掛けする。 ○ 一緒に探したり、知らせたりする。 ○ お互いに見せ合い、どんなものがあったか紹介する。 <p>4 1年生と一緒に、飾りやおもちゃを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お互いに準備するものを打ち合わせておき、制作する場所や道具などを準備しておく。 ○ あらかじめ、どんなことをするか話をしておき、期待をふくらませる。 ○ 初めて使う道具の使い方を知らせる。 ○ 小学生に教えてもらいながら、一緒に作るよう声掛けする。 	<p>校庭を探検する。</p> <p>4 1年生と年長組の交流会をする。(1時間)</p> <p>5 校区内の公園で秋の自然を見つけ、校区の秋マップを作る。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫さがし ・川岸のコスモス など <p>6 ○○公園で木の実や落ち葉などを拾ったり、自然のすべり台などで思いっきり遊ぶ。(3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり ・まつぼっくり ・草の実 ・小枝 ・落ち葉 など <p>7 飾りやおもちゃをグループで作る。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を作るか、あらかじめ案を決めておく。 ・I公園で拾った物と道具類を持って、幼稚園に行く。 ・材料の特長を生かして、飾りやおもちゃを工夫して作る。 	<p>るようにして、意欲をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 校庭のおもな草木を見つけることができたか。 ○ 室内のゲームや遊びを計画して、1年生と園児が深く関わることができるようにする。 * 1年生と園児の混合グループで、仲良く遊ぶことができたか。 <p>○ 事前に校区内を調べておき、秋さがしのコースを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見つけたものを採集したり、絵に描いたりして、校区マップに貼らせる。 * 校区内の秋の自然を見つけることができたか。 ○ 事前に、どんな物でどんなものが作れるか、作品例を紹介しておく。 ○ 事前に公園までのコースを下見しておき、安全なコースを選んでおく。また、公園内の危険箇所等を把握しておく。 ○ 通行の際は、教師間の連絡を取りながら、1年生と園児の安全に細心の注意を払う。 ○ 児童・園児の行動や公園内のトイレの使用などを十分把握する。 ○ 笛や横断旗、救急バッグ、携帯電話を準備しておき、安全と緊急時の対応を図る。 ○ 児童・園児がグループで行動しているか声を掛ける。 ○ 十分集めていないグループには、どこにどんな物があるかを知らせる。 * 落ち葉や木の実などをたくさん集めることができたか。 * 自然の中で元気に思いっきり遊ぶことができたか。 ○ グループで作る物を明確に決めさせて、制作に入らせる。 ○ 園へ出かけて作るので、園との連絡を密にとって、児童・園児がスムーズに制作できるようにしておく。 ○ 安全に制作できるように、道具の使い方の指導をする。 * 落ち葉や木の実などを使って、グループで仲良く、飾りやおもちゃを作ることができたか。
---	--	--

<p>5 1年生と一緒にクラス単位で、作ったものの交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の進行を助ける。 ○ 分からない子がいたら、個人的に声掛けし、みんなが楽しんで参加できるように促す。 	<p>8 「秋のおもちゃで遊ぼう大会」の準備をする。 (1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのグループと遊ぶかを決める。 ・他のグループと一緒に遊ぶことを考えて、遊び方のルールを決める。 <p>9 グループで作った物を紹介して、他のグループの作品を見たり、おもちゃで遊んだりして交流する。 (本時)(1時間)</p> <p>10 活動したことを絵や文で表現して、家の人に知らせる。 (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童や園児と一緒に遊びたいと思っているグループとできるだけ組めるように配慮する。 ○ 大会の進行役を務める児童を決めて、進め方を練習させる。 ○ 自分たちが作ったおもちゃを楽しく遊ぶルールを、お店やさん集会などの経験をもとに考えさせる。 * 自分たちが作ったおもちゃで遊ぶルールを決めることができたか。 ○ 自分たちで決めたルールで遊べるように、事前の準備をさせておく。 ○ ルールをみんなに分かるように説明できているかに気を付ける。 ○ 児童が園児も楽しめるように配慮しているかに目を配る。 * 相手に分かりやすく説明したり、分からないことを尋ねたりすることができたか。 * 工夫して楽しく遊ぶことができたか。 ○ 単元を通して活動した中で、楽しかったことや気づいたことなどを話し合わせ、くわしく思い出させる。 * 「あきといっしょ」で学習したことを絵や文に表すことができたか。
---	--	--

5 本時 平成18年11月16日(木) 5校時 13/16 A小学校 体育館

6 本時の目標

〈1年生〉

- 落ち葉や木の実を使ったおもちゃで、工夫して楽しく遊ぶことができる。
- 幼稚園の子どもたちの様子や状況を考えながら、優しさや思いやりをもって行動することができる。

〈5歳児〉

- 1年生と一緒につくったおもちゃで、楽しく遊ぶことができる。

7 本時指導の考え方

1年生の子どもたちと幼稚園の子どもたちは、前時まで、混合のグループを作って、○○公園と一緒にでかけ、自然のものに触れたり、木の実などを集めたりした。そして、集めたもので一緒に、飾りやおもちゃを作った。1年生2人と幼稚園児2、3人のグループで、作りたいものを作っている。12のグループがどんなものを作っているか、どんな遊びができるかを、お互いに知ることはまだできていない。

そこで、「あきのおもちゃであそぼう大会」を計画して、他のグループがつくったおもちゃでも遊ぶことができるようにする。自分たちが作ったおもちゃとは違うものを作ったグループと、遊び方やルールなどを説明して一緒に遊ぶようにする。相手のグループを決めるときは、園児や児童の意欲を大切にして、希望のおもちゃで遊べるようにする。2つのグループで楽しく遊ぶにはどんなルールにしたらよいか、園児も児童もどちらも楽しめるようにするにはどうしたらよいかを考えさせて、準備をしておく。また、進行役の児童を決めておき、児童の進行による会にしたい。

本時では、12のグループが作ったものをそれぞれ紹介し合い、いろいろな遊びを楽しむ場にした。作った飾りは掲示しておいて、グループの交流のときに紹介する。2つのグループで遊ぶときに、先にどちらのおもちゃで遊ぶかを決めて、決まった方からおもちゃの遊び方を説明して一緒に遊ぶ。遊び方が分かって慣れたら、ルールを決めてレベルや順位などを競う遊

びへと発展させる。その際園児も児童もどちらも楽しめるように、ルールを工夫する。また、賞品（プレゼント）を準備しておくなどの工夫もする。子ども達の遊ぶ様子や時間を考えて、2つ目のグループとの交流に移る。交流が終わったら、グループ内で、どのおもちゃのどんなところが楽しかったかや、どんなルールが楽しく遊べたかなどを話し合う。全体の中では、なかなか発表できない園児、児童も、グループの中では言うことができると考える。そして、そのことを全体で発表できる子に挙手させて発表させる。楽しかったおもちゃを発表し合う中で、自然の物から作り出す遊びのよさに気づかせたい。

8 準備

教師：大会の進め方を書いた広用紙，掲示物（作品），合図のための CD

児童：自分たちが作ったおもちゃ，賞品（プレゼント）など

園児：自分たちが作ったおもちゃ

9 本時の展開

幼稚園教師の支援	子どもの活動	教師の支援(○)と評価の観点(*)
○ 意欲的に参加できるように，どんなことことをするか話しておく。	1 本時のめあてを確認し，活動の見通しをもつ。	○ 本時までに取り組んだことを想起させて，本時の活動への意欲をもたせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈1年生〉自分たちが作った飾りやおもちゃを紹介し合い，一緒に楽しく遊んで，楽しい遊びを発見しよう。</p> <p>〈5歳児〉1年生と一緒に作ったおもちゃで，楽しく遊ぼう。</p> </div>		
○ 子ども達が安全に活動できるように見守る。	・ 「秋のおもちゃで遊ぼう大会」の進め方，約束	○ 進行係の児童が，分かりやすく，進め方や約束を説明できるようにサポートする。
○ 園児は遊び方が分かっていないか，分からないことを尋ねることができているかを巡視して，楽しく遊べるように，児童・園児に助言する。	2 自分たちとちがうおもちゃを作ったグループと，おもちゃの遊び方などを紹介し合い，一緒に遊ぶ。	○ 事前に一緒に遊ぶグループを決めておく。
○ 上手に説明できている児童・園児をほめる。	・ 相手のグループを変えて，いろいろな遊びを体験する。	○ 自分たちのおもちゃの遊び方やルールを説明できているか巡視して，助言をする。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・ はっばのつり ・ どんぐりこま</p> <p>・ まつかさのパラシュート ・ まつかさのけん玉</p> <p>・ おなもみのまとあて ・ やじろべえ</p> </div>		
○ 児童と一緒に，楽しかったことを尋ねる。	3 グループの中で，楽しかったことなどを話し合う。	○ BGM を流して，遊びの終わりを知らせる。
○ 発表を躊躇している園児を励まし，発表を促す。	4 感想を発表する。	○ 児童が園児に「何が楽しかった？」と尋ねるように助言する。
○ 本時での園児の様子や感想を全体に知らせる。	・ グループ1列に整列して集合する。	○ どんなどころが楽しかったか，具体的に言えるように考えさせる。
○ 園でも，作ったおもちゃで遊んだり，遊びを発展させたりしていきけるようにする。	・ 楽しかった遊びや気づいたこと，思ったことなどを発表する。	○ 楽しかったおもちゃ，おもしろかったルールなどを発表させて，本時以降の遊びに取り入れられるようにする。